

光る未来に全ツツパ。⑦

『パチンコで勝って勝負服購入
↓即フラれる』

「来た……！来た来た来たアアアア!!」

朝イチで入った『パワースロット松阪店』。俺の『スマスロモンキーターンV』が神がかった挙動を見せている。

「SGラッシュ3連！乗せまくリイイ！」

今日は動画撮影ナシの完全オフ。だけど、ミサキは近くで見てる。いや、正確には自販機のコーンポタージュ片手に、ちょっと離れた椅子で「この人また何かやっとなって顔してる。」

「どう？ やっぱ俺って持つとるよな？」

「うん。……珍しく当たるとるねえ」

「珍しくって付け足すなや」

最終的にプラス48,000円。財布に万札が戻ってくる音が、こんなに心地いいなんて……!

俺は即、松阪駅前のセレクトショップ「BLAZE」へ向かった。普段なら絶対入らない、ちょっとオシャレな店。

「すいませーん、なんか勝負服〆っぽいジャケットくださいー!」

スタッフのお兄さんがノリよく持ってきてくれたのは、黒のレザージャケット+真紅の裏地。

「これ、パチで勝った男しか着れない服っすね」

「それだよ、それえツツ!!」

一度も羽織らずに購入。値段は38,000円。万札4枚が飛んでいく音も、今日は心地いい。

「もうね、今日は勝った男の気分なんです。運命に勝ったっていうか」

「はあ……」

付き合いて来ていたミサキは、さっきから口数が少ない。たぶん、何か察してる。俺が次に向かう場所を。そう——そのまま向かったのが「CLUB百合」。前回、勝ち金を全落けさせたキャバクラだ。

「まさかまた行くとは……」

ミサキは呆れ顔でついてくる。動画用でもなく、ただ俺を見張ってる。いわば〆ツツコミ付きキャバクラ監視モード。

再び登場したのは、前回と同じ嬢・アヤナちゃん。

「あれ？前も来てくれましたよね？」

「へへっ覚えててくれたー？今日は勝ってるから大丈夫ッスー!!」

「じゃあ、飲んじゃおっかな〜♡」

——開始3分。

まさかのドリンク3連打。

横でミサキがコースターを弄りながら小声で言う。

「これ、前よりペース速いね……」

「きつと俺のフェロモンが覚醒してるんな」

「うん、財布からフェロモン出てる」

「お兄さん、彼女さんじゃないんですか〜?」

「いやいやいや、ちょっと動画と一緒にやってるだけの……」

「へえ〜。でも、お似合いですよ?」

「マジっすか!?! ミサキー聞いた!?! 似合ってるって!!」

「言わせてるだけでしょ、それ……」

笑顔で流される俺。でも、気分は最高潮。今日だけは、人生の勝者。〆未来に全ツツパして、勝ち取った日だ。

……そう思っていた。

30分後。

「こちら本日のお会計、46,000円になります」

「……え?」

「えっ、ちょ、待って、マジで!?!」

財布を開いた瞬間、勝ち金がまるごと消えた幻覚が見えた。いや、実際消えた。

まさかの〆勝ち金全部キャバ吸引〆再来。記

録的敗北。記憶に残る失笑。

帰り道。

ジャケットを着た俺は、まるで敗者のコスプレをしているようだった。

「学習能力、ゼロやな」

ミサキがぼそつと言う。

「っ、うるさい……男には、勝負つてもんがあるんじゃない……」

「それ、スロットでやって」

夜の公園、ベンチで缶コーヒーを開ける。さうきコンビニで買った1000円の甘いやつ。

風が冷たい。でも——ジャケットがある。〆勝者の証〆が、俺の身体を包んでいる。……たぶん。

「……なあ、ミサキ」

「なに」

「俺、いつになったら学習できるかな」

「えっと……5スロで10年修行してからかな?」

「遠いなおい!」

ふたりで、ふっと笑った。

次号に続く……

